方言看板で地域を明るくする現場

発表者　：　株式会社　丸政工務店

常務取締役　上原　健市

我社が方言看板を最初に設置した現場は、１４年前（平成１５年度）の沖縄総合事務局北部国道事務所発注による伊芸地区歩道整備（その１）工事の現場でした。歩道の改築工事は皆さんもご存知の通り工種が多い上、同じ場所で種別ごとの作業も多くて、住民からは進捗が遅いと感じられやすい工事です。また、近隣住民や道路を利用する方々から苦情が寄せられたり、苦情はなくても不便さを感じさせているのが現状ではないかと思います。

そのような苦情や不便さを少しでも緩和できないものかと思っていたところ、以前にうるま市の農道で目にした『山芋スープ』山芋の大きさを競う大会のおもしろ看板を思い出し、それをヒントに「工事看板を方言にしてみたらどうかと」（やまうむスープ）創意工夫の題材にしてみようというのが始まりです。

日頃、私達が何気なく交わしている方言を、看板にするにはどのように表現して良いか、いざ工事看板の文言を方言にするにあたっては、中々良い案の発想がなく苦労しました。現場スタッフの皆で悩んで出来上がった最初の方言看板が①の写真です。

工事のうにぃげえ　くぬ先ち、工事そーいびーぐとう、気ちきていあっちみそうり。うにげぇさびん。

工事のお願い、この先、工事中です、気を付けて歩行して下さい。お願いします。という表現の工事看板でした。

方言看板①

方言看板を設置したものの、その後は正直あまり気には留めていませんでしたが、ある日、新聞記者の目に留まり新聞に掲載される事になりました。その時の掲載記事が平成１５年２月の②の写真です。

② 沖縄タイムスに掲載

② 琉球新報に掲載

新聞に掲載されて数日後の夕方、現場の担当者から連絡があり、『方言看板が新聞に載ったせいで現場が大渋滞ですよ!!』との報告でした。急いで現場にかけつけると、それほどの渋滞ではありませんでしたが決してスムーズな走行状態ではありませんでした。現場には６基の方言看板を設置していましたが、設置場所が近隣住民に注意喚起を促すための看板であり、全て町道側に設置したため、国道側からは方言看板を見る事ができないことで、運転手が看板を確認したいために徐行したことが原因でした。そこで速やかに工事現場の始点・終点側にも２基増設して処理した事を今でも覚えております。

国道側に増設した方言看板

その様な反響があったことで方言看板にハマった要因の一つであり、その後の方言にこだわる看板作りの始まりでもあります。その後の工事現場で考案した第２弾の方言看板が③の写真です。

『 きぃいちきてぃ　よんなぁー　あっちみそーれー　やんばるみち 』

『 気をけて　ゆっくり走って下さい　山原路 』

という表現の工事看板でした。

③

沖縄自動車道　許田高架橋補修工事

名護市許田地内　国道５８号線

③

方言を記した側に読みかなも付けて子供たちにもわかりやすい看板にしました。　でも・・・・・

ある日　総務の女子社員がインターネットのブログで方言看板への意見が掲載されている記事を見つけたとの報告を受け、すぐさま検索してみますと現場に設置されている看板への意見・方言の用法の間違いが指摘されている記事でした。

その記事が④⑤の写真です。

④

2005年10月15日

走行ゼロ

市街は盛り上がり、来週でぎょうは走行ゼロ。あいスーなー。

写真は先日の北部コリ練で見つけた道路わきの看板。吉ののちゃんと読んでいたら、事故ってしまうよな。それと正確には「あっちみそーれー」と、「そー」を抜けます。これで正確な事故を起こすと。

Monday at 22:50 | Comments(5) | TrackBack(1) | 看板・ポスター | このBlogがイヤだ | 材木屋業 | おれが業

奥の坂道

ここは皆様いっぱいに、新年から「奥の坂道2」に引続いました。初期の yahoo!「奥道」ブログはここ。

写真をクリックすると大きくなります

この記事へのコメント

1. Posted by yamayama　2005年10月16日 01:26

この看板。
わたし、間違いなく事故ります(笑)
すた、きぃちきてぃ？・・・えぇ？なに？ぇ
ガッチャン！！！！
でな感じでしょうね。

2. Posted by キッズ　2005年10月16日 05:29

写真を見たら場所当てクイズ
名護市入り口 許田の高速出口ですよね？

3. Posted by V栄　2005年10月16日 06:33

♣ yamayamaさん、ちゃんと呼吸してから読んでください。うーん、これも結構間には近怒だ。事故のもとか。

4. Posted by V栄　2005年10月16日 06:35

♣ ピンポーン、さすがキッズさん大正解。コメント時間をみると、北部練習に出発するころ、おれは起きるのがいやだ感じだった。

5. Posted by (株)丸政工務店　上原　2007年02月16日 18:04

はじめまして、(株)丸政工務店の、
上原と申します。
今回はわんどもの方言看板に興味を引かして下さり有難うございます。
又、ご指摘の件、今後に生かしていきたいと思いますので、第4弾、5弾を楽しみに待っていて下さい。

なお、方言看板をご覧の際は安全の為チラ見程度で！？

今後とも応援よろしくお願いします。

6. Posted by 山崎　2007年02月16日 19:49

♣ 丸政工務店の上原さん、はじめまして。当事者の方が、こんなブログに目をとってもらえて、とてもカンゲキしています。
私たちの目指である「うちなーぐち方言」を継承しつつ、ドライバーや観光客、自転車乗り方にこまさせてください。
特に自転車で名護を で行く、好きでやっているとはいえキツイ、そこでこんな看板を見つけると、(観光客)の眠りが吹っ飛びます。
次の看板も楽しみにしています。

工夫して、自面自賛しただけに少し落ち込みながらブログに意見を投稿していただいたＹさんに返信したのを覚えています。

⑤　2005年12月08日

方言看板

★家たか丸政工務店さん。方言の立て看板第三弾ですな。第一、二弾はここ。方言で読むみやすくするのは、大賛成です。運転中にちゃんと読ちうとしたら事故ってしまいそうだけど、でもちゃんと読んで楽しんでいる人もいるから頑張って下さい。あと、用法が間違ってないかな。「ちにぴーさぴんん」は違ちがい。正しくは「ちにぴーさぴらと思うんですけど。老婆心ながら。

◆本日の走行距離76km

出勤前に南部一周。天気も良く、レーパン、半そでがいいくらいでした。踏み足にカを入れやすいポジションを見つけた。いいカンジ。

tandaga at 19:33 | Comments(2) | TrackBack(0) | 看板ボランティア | 看板作成

この記事へのコメント

1. Posted by hawaii　2005年12月09日 14:01

沖縄の方言は難しい。

2. Posted by ハ郎　2005年12月09日 14:49

◆hawaiさん。第三弾ら、のことになると、地元ビーブルでも高校一大学生あたり迄ですた。中学は理解できないでしょうね。タメグチ方言じゃなて、敬語が入ってますので。

方言看板でも自動車、自転車向けであれば運転中にジッと看板をみつめてもらうわけには行きません。
文字数が多く、読みずらい表現よりもシンプルで伝えたい部分はメリハリをつけて工夫し、インパクトのある表現に変える事にしました。

その改良した方言看板の写真が⑥～⑪の写真です。

⑥　この先　大きいカーブがありますよー

⑦　工事出入口がありますよー

⑧　気をつけて

⑨　ゆっくり　ゆっくり

⑩　安全運転有難うございます

⑪の添付資料は実際に創意工夫として提出したものですが、
一つの文章を５分割した表現で製作した方言看板です。

⑪

別紙様式-4-2

観察工夫・社会性に関する実績状況（説明資料）

工　事　名	平成19年度清掃第2ほか管理道路19年補助路（その1）工事		5
現　場	南風工作	評価内容	安全運転関係
提案内容	地元地域住民との工夫		

（理由・効果）

構成地域住民に対する観光ルロ（ゲート）がある。工事車輌が出入りするため一般車輌との事故が発生しやすい。現実を無くし通りを無くし観光ルロ（ゲート）を上げて通行する事用が多い為、従来の規制看板では安全な方法を伝えるのは難しく、又、地元の人にも対応で、工事中の事故防止に役立った。

（添付図）

方言工事中看板

説明資料は観察に向けるものとし、必要に応じて別紙とする。

現場状況に合わせて色々なバリエーションの方言看板で注意喚起しています。

⑫　よんなー　よんなー

⑬　プランター緑化も兼ねた方言看板

ここから沖縄が「楽しい」と「面白い」を提供する

東風子新報ブログ

沖縄の方言でかかれた交通案内。

沖縄の人は、ぼっこうすんなり読めるけど・・・

観光客の方は・・・（？）

観光で沖縄にいらっしゃる皆さん！

読めない看板は気にせず

皆さ見て安全運転お願いします（笑）

「くるみ先ぱい ちゅくんぱいぬ いぴんどー」

（意味：この先、大きなカーブがありますよー）

※すべて助手席よりの撮影（笑）

次に⑭の写真はブログに掲載された記事です。

2009年01月23日

シンプルー

★おぃ、うるま市石川にも道路工事の方言看板が。九州工作協さん、ここまで進出展開しているのですね。かつて名護にあっ。

ん。ずいぶんシンプルに読みやすくなって、ドライバーはもう迷わないはずぇ。チャンプルーよりもシンプルー ……ブルブル ←あまりにも寒いオヤジギャグに怒りで震える読者😱

◆通勤みち 10:00

tandaga at 17:43 | Comments(0) | 看板 ボランティア

⑭　工事そーんどー(工事してますよ)、　あわてぃらんどー(慌てるなよ-)

ブログのコメントの中に『観光客の方は読めないでしょうね』と記載されていますが、面白いエピソードを紹介します。名護市許田の工事現場の方言看板を見た観光客の方が『国道沿いに立てられている読めない看板がありますけど意味を教えて下さい』と区事務所に訪ねて来たそうです。その日は日曜日でしたが、偶然にも区長さんがおられて、わざわざ現場まで出向いて下さり、その観光客の方に『方言の意味をひとつひとつ説明しましたよ』と許田区在住の社員からの報告で、とてもありがたくほのぼのとした気持ちになりました。

沖縄県は観光客需要の活発さを背景に、観光関連産業は好調さを拡大しつつ、今では沖縄を訪れる観光客は1,000万人にも迫っています。私も県民の一人として沖縄を訪れる方々と機会がある毎に“ ふれあいの心 ”一つ一つ大切にしていきたいと思います。又、タクシーや観光バスでのガイドで、沖縄方言の紹介に、役立てるものになればと思う次第です。

方言看板の反響は意外と大きく、ＴＶの取材を受けたり、高校の英語の教材にも採用されたりしています。また、方言看板に興味を持った　女子大学生の方から卒業論文の取材を申し込まれた事もありました。最近では、のぼり旗でのアピールや工事現場地域の文化の紹介などを行っています。

11/9島人ぬ宝「うちなーぐち工事看板」
TV取材　平成26年

「うちなーぐち工事看板」を見たことがありますか？
１０年ほど前から作られているということで、
金武町の丸政工務店へ行ってきました！

話しのお相手は、上原孝政さんと上原恵子さん。
10年ほど前から作っているという工事看板は、
想像した以上にたくさんのパターンがあってビックリ！

とてもユニークですが、
面白いだけでなく、
「親意識」を高じたいという思の関が込められてあるから、
通勤中の方にも好評で、
観光客へのＰＲにも役立っているようです！

沖縄なら方言の工事看板がもっと観光するといいですね！

県立高校の教材にて採用

These days, there are few Okinawan people who know *uchinaguchi*. Because many young people could not speak it at all, a movement was started to increase their chance of hearing, seeing, and speaking the language. There are radio programs, local newspapers, songs, and plays in *uchinaguchi*. Trainees in the local police academy and university students majoring in Social Welfare learn *uchinaguchi* to communicate with elderly people in the community.

"Thanks to this movement, young people are now interested in *uchinaguchi*. People who visit Okinawa are also eager to learn it. Students on a school trip can learn easy *uchinaguchi*. One girl said, "*Uchinaguchi* sounds warm and friendly." Don't you want to learn it, too?

チャンプルータウンで見かけた工事の看板

interlude　間です

play　芝居、演劇

troubadour　游吟詩人
yellow strawberry
黄色い苺

wonderful　…（ほめる言葉）
…を指示する

Social Welfare
社会福祉学

elderly　高齢の

be eager to～
（…を）…したがる

平成２４年度恩納地区改良（その１）工事にて
恩納村のイメージの海を現場にてアピール。
また、琉球を代表する女流歌人　恩納村生まれの
恩納ナビーの紹介と琉歌を掲載

地元恩納村の方々から好評

平成25年度世富慶地区地盤改良(その1)工事では名護市の許可を受けて、キャラクターである『　がじゅまる順多くん　』を方言注意喚起と合わせてのぼりを製作・設置しました。

このように我社は方言看板にこだわり続けて１５年目になります。色々な出来事がありましたが、方言看板が起因とする事故報告は一度もありません。これからも方言看板や方言のぼり旗を設置する事で現場の安全第一と現場付近利用者の安全に気を配り、皆様方の御意見・御指導を受けながら創意工夫して行きたいと思います。

又、担い手が少なくなっている我々、**建設業界の負のイメージ３Ｋ【　きつい・汚い・危険　】**を脱していけるように日々の努力とチームワークを大切にしていきたいと思います。

最後に我社がモットーとしている『　**地域を元気にする企業**　』として現場の作業に従事し、邁進してまいりたいと思います。